

## (6) 学校教育学部

## ③ 教育実習

## ア 運営・活動の状況

## i) 委員会等の開催状況

学部における実習の責任体制を明確にするとともに効率的な運営を図るため、教育実習委員会に以下の部会を設置した。

- ・ 教育実地研究Ⅰ・介護等の体験専門部会  
教育実習委員会委員のうち、①委員長及び副委員長、②幼稚園教育実習専門部会長、③小学校教育実習専門部会長または副部会長、④中学校教育実習専門部会長または副部会長、⑤発達支援教育実践研究コース特別支援教育領域所属の委員、⑥学校教員養成・研修高度化センター選出の委員から委員長が指名する者の計14人で構成
- ・ 教育実地研究Ⅱ専門部会  
教育実習委員会委員のうち、教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）の授業担当教員13人で構成
- ・ 幼稚園教育実習専門部会  
教育実習委員会委員のうち、①発達支援教育実践研究コース幼年教育領域所属の委員、②学校教育実践研究センター選出の委員から委員長が指名する者、③附属幼稚園長、④発達支援教育実践研究コース幼年教育領域の教授、准教授、講師及び助教（教育実習委員会委員を除く。）の計6人で構成
- ・ 小学校教育実習専門部会  
教育実習委員会委員のうち、①教育支援高度化専攻及び教育実践高度化専攻の委員から委員長が指名する者、②学校教員養成・研修高度化センター選出の委員から委員長が指名する者、③附属小学校長の計17人で構成
- ・ 中学校教育実習専門部会  
教育実習委員会委員のうち、①教育支援高度化専攻及び教育実践高度化専攻の委員から委員長が指名する者、②学校教員養成・研修高度化センター選出の委員から委員長が指名する者、③附属中学校長の計14人で構成
- ・ 保育士実習専門部会  
教育実習委員会委員のうち、①発達支援教育実践研究コース幼年教育領域所属の委員、②発達支援教育実践研究コース特別支援教育領域所属の委員、③保育実習Ⅰ、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ及び保育実習Ⅳ履修者の所属コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）の計3人で構成
- ・ 教育実習指導力補習専門部会  
教育実習委員会委員のうち、①委員長及び副委員長、②小学校教育実習専門部会長及び同副部会長、③中学校教育実習専門部会長及び同副部会長、④教科教育・教科複合実践研究コース人文・社会領域及び同コース自然科学領域（国語、英語、社会、数学、理科）から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、⑤学校教員養成・研修高度化センター選出の委員、⑥その他委員長が指名した者の計20人で構成
- ・ 総合インターンシップ専門部会

教育実習委員会委員のうち、①委員長及び副委員長、②総合インターンシップの授業担当教員、③小学校教育実習専門部会長及び中学校教育実習専門部会長、④学校教員養成・研修高度化センター選出の委員から委員長が指名する者、⑤附属小学校長及び附属中学校長の計10人で構成。

さらに、学部における教育実習の円滑な実施を図るため、教育実習連絡会及び教育実習協力校（園）会議を設置している。

令和6年度においては、以下のとおり教育実習委員会等を開催した。

令和6年4月2日（火） 第1回教育実習委員会  
" 4月5日（金） 第1回教育実習連絡会  
" 4月10日（水） 第1回教育実習協力校（園）会議  
" 6月4日（火） 第2回教育実習委員会  
" 7月23日（火） 第3回教育実習委員会  
" 9月17日（火） 第2回教育実習連絡会  
" 11月12日（火） 第4回教育実習委員会  
" 11月18日（月） 教育実習委員会（書面審議）  
" 11月27日（水） 第3回教育実習連絡会  
" 12月4日（水） 第2回教育実習協力校（園）会議  
令和7年2月18日（火） 教育実習委員会（書面審議）

ii) 審議された主な事項

教育実習委員会及び専門部会における主な審議事項は、以下のとおりである

- ・ 教育実地研究Ⅰ（観察・参加）の実施及び成績評価
- ・ 教育実地研究Ⅱ（授業基礎研究）の実施及び成績評価
- ・ 教育実地研究Ⅲ（初等教育実習）の実施及び成績評価
- ・ 教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）の実施及び成績評価
- ・ 幼稚園専修教育実習の実施及び成績評価
- ・ 保育実習の実施及び成績評価
- ・ 令和7年度教育実習計画の策定
- ・ 令和7年度保育実習計画の策定
- ・ 令和7年度教育実習指導力補習（リメディアル教育）実施計画
- ・ 令和8年度教員採用選考試験の前倒しに伴う教育実習日程の変更
- ・ 上越教育大学学部スタンダードの改訂に伴う教育実習ループリックの改訂
- ・ 教育実習ループリックの改訂に伴う教育実地研究における成績評価方法の改訂等

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

- ・ 運営体制や授業体系等に係る重要案件を除き、基本的に各専門部会が担当する実習に係る企画・立案・実施を委ねることで、各実習を円滑かつ効率的に実施することができた。
- ・ 基礎学力不足の学生に対する組織的な取り組みとして、教育実習指導力補習専門部会において、大学院免P受講者を対象に教育実習に行くための基礎力をつけさせるため、基礎学力点検テストを実施し、学力が不足していた学生に対し補習を行った。
- ・ 令和8年度教員採用選考試験の前倒しに伴い、教育実地研究Ⅳ（中等教育実習）の日程を、教育実習連絡会での協議を経て、令和7年度より「4月下旬～5月中旬」から「8月下旬～

9月中旬」に変更することとした。

- ・ 昨年度の上越教育大学学部スタンダードの改訂に伴い、教育実習ルーブリックの改訂を行うため、新潟県・新潟市教育委員会の管理主事や小・中学校の校長を含めた「上越教育大学教育実習ルーブリック改訂に係る会議」を設置の上、改訂後の学部スタンダードに対応した教育実習ルーブリックの改訂を行った。また、教育実習ルーブリックの改訂に合わせ、教育実地研究における成績評価方法の改訂等を行った。

#### イ 優れた点及び今後の検討課題等

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に「5類感染症」へ移行したものの、前年度に引き続き、感染症防止対策に留意した教育実習となったが、教育実習委員会、学校教員養成・研修高度化センター学校教育実践部門、近隣教育委員会及び教育実習協力校との連絡調整を行い、教育実地研究Ⅰ（観察・参加）の一部についてはオンライン実習に、介護等体験は代替措置として実施した以外は計画どおり実施することができた。

また、教員採用選考試験の前倒しに伴う教育実習日程の変更や上越教育大学学部スタンダードの改訂に伴う教育実習ルーブリックの改訂に関して、外部関係者の意見も聴き調整を行ったことで、大きな混乱もなく決定することができた。